

流石山・大峠ミヤマナラ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 塩那森林管理署
所在地	栃木県那須塩原市
面積	97.31ha
設定年	平成18年(設定)、平成30年(名称変更)
保護林の概要 (設定目的)	ミヤマナラ群落が発達する地形と、ハイマツ群落、ニッコウキスゲなどが優占する雪田草原などが地形に応じて分布域を異にしており、地史、地形、気象との関係における分布域の問題を考察する上でも極めて貴重であることから、特異な分布を示すこれらの亜高山帯植生を保護するために設定した。



保護林内の状況



風衝低木(ミヤマナラ)群落

モニタリング調査概要

実施年度	平成26年、平成31年、令和6年
調査項目	資料調査、森林概況調査、森林詳細調査(樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査等)、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査として、山頂稜線域の亜高山性群落を代表する地点において調査プロットを合計11箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握した。
結果概要	植生等に大きな変化はまだみられないものの、一方でニホンジカの影響により優占種が変化している群落も存在し、今後、個体数が増加した場合、短期間に植生変化が生じる可能性がある。高山ハイデ及び風衝草地では、採食圧により前回調査時点でニッコウキスゲが消失して風衝草地群落に変化しており、今回もニッコウキスゲは確認されなかった。今後も影響について把握する必要がある。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。